

評価規準（令和 2 年度） 【社会】 4 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしたちの県のまちづくり オリエンテーション	【知技】地図帳を使って、自分たちの県の地理的位置や他の都道府県との位置関係を捉えたり、各都道府県の特産物や祭り、観光地などを捉えたりしている。(発)(ノ)	【思判表】各都道府県の名称と位置や、地図帳を使って調べた特産物、祭り、観光地などをクイズの出題内容にして適切に表現している。(発)(ノ)	
県の地図を広げて 県の地図を見よう (2)		【思判表】自分たちの県の地図を見て思ったことや気づいたことを発表し、それらをもとに問いを見出している。(発)(ノ)	【態】自分たちの県の概要について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)
県の土地の使われ方 (1)	【知技】土地利用図と地形図を使って、自分たちの県の土地利用と地形とを関係づけて読み取っている。(発)(ノ)		
農業や漁業がさかんな地域 (1)	【知技】自分たちの県の主な農産物、海産物とその産地を示した地図や主な農産物の生産量のグラフを読み取っている。(発)(ノ)		
工業がさかんな地域 (1)	【知技】自分たちの県で工業が盛んな地域とその分布を地図で読み取ったり、市町村ごとの工業製品出荷額をグラフで読み取ったりしている。(発)(ノ)		
県の交通の様くまとめる (1)	【知技】県の交通がどこをどのように通っているのかを地図から読み取っている。(発)(ノ)	【思判表】県の地形や土地利用、産業、交通について調べたことを白地図などにまとめ、県の概要について表現している。(発)(ノ)	
ごみはどこへ (選択) 家から出るごみを調べよう (1)		【思判表】家から出るごみの種類や量を調べて思ったことや考えたことを発表し、ごみの収集方法や処理のしかたについて問いを見出している。(発)(ノ)	【態】ごみの処理について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)

ごみの収集の様子を調べよう (1)	【知技】ごみ収集の様子を観察したり、グラフや資料を読み取ったりして、市から出るごみの量や種類、ごみを収集する際の工夫や収集に出す際のきまりを調べている。(発)(ノ)		
清掃工場を見学しよう (4)	【知技】清掃工場を見学したり、清掃工場の資料を活用したりして、燃やすごみの処理の仕方や、処理の工夫を適切に調べている。(発)(ノ)		
資源ごみのゆくえ (1)	【知技】資源ごみの処理の仕方を捉え、資源ごみをリサイクルしていくためには人々の協力が必要であることを理解している。(発)(ノ)		
ごみをもやしたあとの灰のゆくえ (1)	【知技】最終処分場での処理の仕方や処理の工夫を調べ、ごみを処理し続けるには、費用や用地の確保といった課題があることを捉えている。(発)(ノ)		
こんなに費用がかかるなんて (1)	【知技】市のごみの量と処理にかかる費用の変化を人々の生活の変化と関わらせてグラフから読み取り、ごみの処理の仕方は時代とともに変わってきたことを理解している。(発)(ノ)		
市で働く人々の取り組み (1)	【知技】市で働く人々が行うごみを減量したり、再生利用したりする取り組みを調べ、その工夫や効果について理解している。(発)(ノ)		
市でくらす人々の取り組み (1)	【知技】ごみをさらに減量していくための工夫や努力、取り組む人々の思いを捉え、活動を続ける上で大切なことについて理解している。(発)(ノ)		
わたしたちにできることは…<まとめ> (1)		【思判表】学習問題を確認、ごみの処理や減量について自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。(発)(ノ)	
水はどこから 1日に使う水の量を調べよう (1)		【思判表】家の水の用途やその使用量を調べて思ったことや考えたことを発表し、水の供給について問いを見出している。(発)(ノ)	【態】水の供給について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)

水が送られてくる道を調べよう (1)	【知技】地図や資料をもとに、水源から自分たちのもとに水が送られてくるまでに関わる施設や経路について捉えている。 (発)(ノ)		
浄水場を見学して調べよう (4)	【知技】浄水場の仕組みやそこで働く人の仕事の工夫を捉え、浄水場の役割を理解している。(発)(ノ)		
ダムや森林のはたらきを調べよう (1)	【知技】ダムと森林のはたらきについて考え、それら両方に共通するはたらきがあることを理解している。(発)(ノ)		
水源を守る取り組みを調べよう (1)	【知技】水源や河川の水質を守るための取り組みを、人々は県や地域を越えて協力して行っていることを理解している。(発)(ノ)		
水をむだにしないくふう (2)	【知技】市内の人々は、水をむだにしないために工夫したり、節水などに取り組んだりしていることを捉えている。(発)(ノ)		
使ったあとの水のゆくえを調べよう ＜まとめる＞ (1)	【知技】水は循環して再び水源に行き着いていることを捉えるとともに、水の安定的な供給のための工夫や取り組みについて理解している。(発)(ノ)	【思判表】水を大切に使うために、自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。(発)(ノ)	
＜深める＞くらしの見直しをよびかける言葉を考えよう (2)			【態】ごみの減量や節水を暮らしの中で実践し、学習したことを暮らしに生かそうとしている。(発)(行)
くらしと電気(選択) 電気はどこから			【態】自分たちが暮らして使っている電気の供給について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)
どのようにして、電気をつくるの	【知技】電力を安定供給するために、計画的な取り組みがなされていることや、主要な発電方法の仕組みや特徴を理解している。(発)(ノ)		
くらしと電気のこれから	【知技】自然の力を利用した発電の仕組みがあり、それらを暮らしに使っていくとする取り組みが進められていることを理解している。(発)(ノ)	【思判表】電気の使用について自分が協力できることを考えたり、学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。(発)(行)	

自然災害にそなえるまちづくり オリエンテーション		【思判表】様々な自然災害の写真などを見て思ったこと や考えたことを発表し、調べる自然災害を選び出している。 (発)(ノ)	
地震にそなえるまちづくり(選択) 大きな地震が起こったら(1)			【態】自分たちの地域の地震や津波への備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。 (発)(ノ)
市役所へ行って調べよう(2)	【知技】市は、大きな地震が起こると住民を守るために、県や国などの関係機関と協力したり、日頃から地震に備えて地域防災計画などをつくったりしていることを理解している。 (発)(ノ)		
大切な情報(1)	【知技】市は、大きな地震の発生に備えて、日頃から災害に関する情報を提供したり、地震発生時には住民に正確な情報を早く届ける努力をしたりしていることを理解している。 (発)(ノ)		
住民の命やくらしを守るために(1)	【知技】市は、大きな地震の発生時に住民を避難させるための施設や、避難地で生活するための設備をつくって地震に備えていることを理解している。 (発)(ノ)		
地震防災センターで調べよう(1)	【知技】地域では過去に大きな地震が起きたことがあり、今後も大きな地震の発生が予想されていることを理解している。 (発)(ノ)		
地域にくらす人々のそなえを調べよう(1)	【知技】地域の人々は、地震に備えて、日頃から自分たちができる取り組みを行っていることを理解している。 (発)(ノ)		
身の安全をたしかなものにしよう (1)	【知技】身の安全を確実に守っていくためには、既存の災害対策だけに頼るのではなく、自分自身で主体的に判断することも大切だということを理解している。 (発)(ノ)		
<まとめる>地震や津波にそなえて (1)	【知技】学習問題を確認め、自分たちの地域が地震や津波災害にどのように備えているのかについて捉えている。 (発)(ノ)	【思判表】地震や津波災害に備えるために自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。 (発)(ノ)	

水害にそなえるまちづくり（選択） 水につかったまち			【態】自分たちの地域の水害への備えについて調べるための学習問題をつくり，学習計画を立て，主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行）
水防学習館で調べよう	【知技】地域ではこれまでも繰り返し水害が起こってきたことや，水害が起こりやすい地理的条件があることを理解している。（発）（ノ）		
市役所へ行って調べよう	【知技】市は，県や国などの関係機関と協力したり，日頃から地域防災計画などをつくったりして水害に備えていることを理解している。（発）（ノ）		
ひがいがくり返されないために	【知技】市は県や国と協力して，水害に備えるために河川を改修したり，施設や設備をつくったりしていることを理解している。（発）（ノ）		
地域の住民の取り組み	【知技】地域の人々は，水害に備えて，日頃から自分たちができる取り組みを行っていることを理解している。（発）（ノ）		
火山の噴火にそなえて(選択)			【態】自分たちの地域の火山災害への備えについて調べるための学習問題をつくり，学習計画を立て，主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行）
雪の災害にそなえて（選択）	【知技】市は，県や国などの関係機関と協力して，日頃から雪の災害に備えていることを理解している。（発）（ノ）	【思判表】雪の災害に備えるために自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして，発表している。（発）（ノ）	【態】自分たちの地域の雪の災害への備えについて調べるための学習問題をつくり，学習計画を立て，主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行）
地域で受けつがれてきたもの オリエンテーション		【思判表】自分たちの県を代表する年中行事の写真などを見て感じたことや考えたことを発表し，それらをもとに年中行事について調べるための問いを見出している。（発）（ノ）	

県内の年中行事について資料館で調べよう (2)			【態】県内の年中行事について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)
年中行事に参加する人に話をきこう (1)	【知技】年中行事の継承や発展には、様々な人々の工夫や努力があったことを理解している。(発)(行)	【思判表】学習問題を確認、県内の年中行事がどのようにして受け継がれてきたのかについて、自分の考えを表現している。(発)(ノ)	
<まとめる>わたしたちの県の年中行事の発展 (1)	【知技】年中行事の継承や発展には、様々な人々の工夫や努力があったことを理解している。(発)(行)	【思判表】学習問題を確認、県内の年中行事がどのようにして受け継がれてきたのかについて、自分の考えを表現している。(発)(ノ)	
さがそう、昔から受けつがれてきたもの (1)			【態】年中行事以外に、県内にある文化財について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(ノ)
県内の文化財について調べよう (2)	【知技】県内にある文化財には長い歴史があり、それを守り伝えていくために人々が様々な努力していることを理解している。(発)(ノ)		
わたしたちの県の文化財を守るために (1)	【知技】文化財の保存と継承には課題もあり、文化財を守り伝えるために、様々な工夫が行われていることを理解している。(発)(ノ)		
<まとめる>未来へ、受けつがれていくために (1)	【知技】学習問題を確認、県内の文化財の保存と継承について調べたことを表に整理している。(発)(ノ)	【思判表】調べてきた文化財や年中行事の保存や継承に関わって、自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。(発)(ノ)	
昔から今へと続くまちづくり オリエンテーション		【思判表】約 150 年前の地域の様子を資料などを使って調べ、思ったことや考えたことを発表し、地域の様子の変化について問いを見出している。(発)(ノ)	
吉田新田はどこにあった 地図を使って調べよう (1)			【態】吉田新田がつくられたわけを調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)

吉田新田を歩いてみよう（4）	【知技】吉田新田があった場所を実際に歩いて必要な情報を収集し、新田のあった場所やその広さ、土地の様子を捉えている。 (行) (ノ)	【思判表】吉田新田について、さらに知りたくなったことを発表し、次の追究につなげている。(発) (ノ)	
吉田新田はどうやってできた 歴史博物館をたずねて（4）			【態】吉田新田をつくるための埋め立て工事の様子について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発) (行)
うめ立てる前の人々の暮らし（1）	【知技】絵地図や学芸員の話などから、埋め立て前の入り海の様子や人々の暮らしについて読み取ったり、記録したりしている。(発) (ノ)		
どのようにしてうめ立てたの？（1）	【知技】埋め立て工事の進め方や工事に使われたとされる道具の種類や用途、工事が人力で行われたことについて理解している。(発) (ノ)		
二度のていぼうづくり（1）	【知技】資料や学芸員の話を通して調べたことをもとに、勘兵衛の堤防づくりや二度目の工事どこをどのように工夫したのかについて理解している。(行) (ノ)		
新田ができた！＜まとめる＞（1）	【知技】吉田新田が完成するまでに要した時間や費用、完成に伴う人々の生活や米の収量の変化について理解している。(発) (ノ)	【思判表】学習問題を確かめ、吉田勘兵衛の功績や新田開発による地域の変化について、自分の考えを発表している。(発) (ノ)	
＜深める＞地域のこれからを考えよう（2）	【知技】吉田新田完成後の、横浜の土地の変化を調べ、新たな埋め立ての事例などを積極的に調べようとしている。(発) (行)		【態】「勘兵衛さんへの手紙」を書く活動を通して、学習したことを自分たちのまちづくりへの考えに生かそうとしている。(発) (ノ)
＜せんたく＞ 地域に学校をひらいた小笠原東陽	【知技】小笠原東陽の略歴や、耕余塾の歩みをおさえ、それらが地域の教育発展に貢献したことと関連づけて理解している。(発) (ノ)	【思判表】小笠原東陽の功績や耕余塾の存在が地域に与えた影響について自分の考えを適切に表現している。(発) (ノ)	【態】地域に学校を開いた小笠原東陽について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発) (行)
＜せんたく＞ 砺波のチューリップづくりと水野豊造	【知技】水野豊造の略歴や、チューリップ栽培の歩みをおさえ、それらが地域の産業振興に貢献したことと関連づけて理解している。(発) (ノ)	【思判表】水野豊造の功績やチューリップ栽培の発展が地域に与えた影響について自分の考えを適切に表現している。(発) (ノ)	【態】地域に産業を発展させた水野豊造について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発) (行)

焼き物を生かしたまちづくり 特産物や観光で知られる地域(1)		【思判表】自分たちの県の様々な地域について写真を見たり地図で調べたりして、感じたことや考えたことを発表し、各地域の特色について調べるための問いを見出している。(発)(行)	
東峰村はどのような所なのだろう (1)			【態】東峰村で焼き物づくりが盛んな理由について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(行)
小石原焼が広まったわけは(1)	【知技】小石原焼の実物を見たり、発祥から現在までの歩みを調べたりして焼き物の特徴をつかみ、人々に広く知られるようになった経緯について捉えている。(発)(ノ)		
小石原焼ができるまで(1)	【知技】小石原焼は東峰村でとれる材料を使って作られ、作り手は様々な工夫をして焼き物づくりを行っていることを捉えている。(発)(ノ)		
小石原焼のよさを伝えるためにくまとめる>(2)	【知技】窯元や東峰村は、小石原焼をさらに広めていくために様々な工夫や取り組みを行っていることを捉えている。(発)(ノ)	【思判表】学習問題を確かめ、東峰村では焼き物づくりが盛んな理由について考えたことを表現している。(発)(ノ)	
昔のよさを未来に伝えるまちづくり たくさんの人がおとずれる太宰府市 (1)		【思判表】太宰府市に関する写真やグラフを見て思ったことや気づいたことを発表し、それらをもとに問いを見出している。(発)(行)	
史跡や文化財の多い太宰府市(1)			【態】太宰府市に昔のものが多く残されていることについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発)(ノ)
昔からひらかれていた太宰府市 (1)	【知技】太宰府市にある史跡や文化財について調べ、その意味や由来を知るとともに、太宰府市は古くからひらかれた、日本の昔の姿を今に伝えるまちであることを捉えている。(発)(ノ)		

昔のものが守られるまでには（１）	【知技】太宰府市に史跡や文化財が多く残されている理由の中に、地域の人々の史跡に対する思いの変化があったことを理解している。（発）（ノ）		
未来に伝えたい太宰府市のよさ（２）	【知技】太宰府のよさをさらに広めていくために取り組んでいる人々の思いや願いを捉えている。（発）（行）	【思判表】学習問題を確認、太宰府に昔のものが多く残るわけについて考えたことを表現している。（発）（ノ）	
せんたく 松原を生かしたまちづくり 松原と海が美しい所		【思判表】さつき松原について、写真や地図を見て思ったことや気づいたことを発表し、それらをもとに問いを見出している。（発）（行）	【態】さつき松原について調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（行）
地域のくらしとさつき松原	【知技】写真や図、グラフを読み取ったり、地域の人から話を聞いたりして、さつき松原が地域の暮らしに与えてきた影響や役割を捉えている。（発）（ノ）		
100年後に美しい松原を残すために	【知技】さつき松原を保護する活動や地域の人々の松原に対する思いや願いを理解している。（発）（ノ）	【思判表】学習問題を確認、さつき松原は地域の人々にとってどのような場所なのかについて、自分の考えを表現している。（発）（ノ）	
世界とつながる福岡県 ようこそ、福岡県へ（１）		【思判表】他地域の人々はどうやって自分たちの県にやってくるのかについて考えたことを発表し、それらをもとに問いを見出している。（発）（行）	【態】自分たちの県と他地域とのつながりについて調べる学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。（発）（ノ）
空のげんかんー福岡空港（１）	【知技】福岡県は、博多港を通じて、多くの国々と結ばれており、特に位置的に近い韓国や中国とは人や物の行き来が盛んであることを理解している。（発）（ノ）		
多くの国や地域とつながる福岡県＜まとめる＞（２）	【知技】福岡県は、国際交流事業があることを理解している。（発）（ノ）	【思判表】学習問題を確認、福岡県で国際交流が盛んなわけについて考えたことを表している。（発）（ノ）	
＜深める＞県をしょうかいするパンフレットをつくろう（２）			【態】学習したことをもとに、外国の人に紹介したい自分たちの県の特徴を選び、ガイドマップづくりに生かそうとしている（行）（ノ）